

# 教育と文化



安心して子育てできるまちに  
人と人とのつながりを大切に、  
地域でサポートしましょう！

● 問合先 男女協働推進課

男女協働推進係 ☎2115

子育ては教科書どおりには  
いかず、正解があるわけでも  
ないため、特に初めての子育  
てのときは、大きな不安と多  
くの悩みを抱えがちです。ま  
た、子育てには休日がなく、  
24時間365日が子ども中心  
で、自身の自由な時間がとれ  
ない状況になります。

このような中、子育て中の  
母親の72%が、自分の育った  
町から離れた場所での子育  
て、『アウェイ育児』をしてい  
ます（NPO法人子育てひろ  
ば全国連絡協議会『地域子育  
て支援拠点事業に関する調査  
2016』。身近に知り合い  
がないなど、孤立感や不安  
を抱えながら家事と育児に奮  
闘する、いわゆる『ワンオペ  
育児』に悩む母親や、子ども  
の虐待、地域関係の希薄化な  
どが、子どもを取り巻く社会  
問題となっています。

子どもを連れて行ったとき、高  
齢の女性に「子育て大変そう  
ね。でも、子どもは社会の宝  
物だから大切に育ててね」と  
微笑みながら話しかけられた  
そうです。第2子出産後間も  
なくで家事・育児に追われ、  
心身共に疲れていたところ  
に、この女性の言葉はとても  
嬉しく、「二人じゃない！地域  
の方が見てくださっている」と  
心強く感じたそうです。

子育て支援は、全ての家庭  
が安心して子育てができ、子  
どもたちが笑顔で成長してい  
くために必要なことであり、  
子どもの育ちを支えることも  
に、子育て中の家庭を支える  
ものです。そして、子どもの  
育ちとその家庭を支えること  
は、同じ地域に住む私たち一  
人一人の役割ではないでしょ  
うか。子育て中の家庭が家族  
だけで頑張り過ぎないように、  
人と人とのつながりを大切に  
して、地域でサポートしま  
しょう。

## 郷土の文化財

伊万里の城館跡シリーズ④

● 問合先 生涯学習課文化財係 ☎3186

### 畑津城跡

畑津城跡は、波多津町畑  
津字三岳に所在する『三  
岳』上に立地する城跡で  
す。三岳の頂上を中心とし  
て城を造成していたと考  
えられますが、山頂部から  
西南斜面にかけて採石場に  
よって大きく削平され、遺  
構の大部分が失われていま  
す。現在は東側の山腹に複  
数の曲輪と帯曲輪、空堀状  
の窪地が残されるのみと  
なっています。

1335年）に波多津を支  
配した波多津氏が居城して  
いたという記述もありませ  
んが、定かではありません。  
現地は図中の赤丸印の場  
所から徒歩で城跡に向かう  
ことができます。しかし、  
残された部分は山林に覆わ  
れていて見通しが悪く、自  
然地形を利用して目立った  
造形がされていないため、  
往時の様子を想像するのは  
難しい城跡です。

畑津城はその  
創建の年代や利  
用していた武  
士が誰だった  
のか、確かな史  
料が残っていま  
せん。後世の文  
献である『松浦  
昔鑑』によれ  
ば、建武年間  
（1334年）



↑畑津城跡位置図（青線は遺構の範囲）